



しば慎一

国政報告

2026年6月号 vol.5

立憲民主党参議院比例 第18総支部 発行

〒100-8962 東京都千代田区永田町2-1-1 参議院議員会館1009号室 TEL: 03-6550-1009 URL: <https://shiba-s.jp/>

これからも
たくさんの方々と
ふれあって
まいります



みなさんこんにちは。参議院議員のしばです。しば慎一です。日頃より、あたたかい激励・応援をいただき、心より感謝申し上げます。みなさまに日頃の活動などを見ていただきたく、YouTube「しば慎一ちゃんねる」を立ち上げました。チャンネル登録よろしく願います。

高市総理による奇襲的な解散総選挙は、私たちにとって極めて厳しい結果となりました。衆議院では巨大与党による強引な国会運営が行われており、国権の最高機関である国会の存在を貶める事態となっています。私たち立憲民主党は、少数与党の状況にある参議院の野党第一党としての役割を果たし、熟議の府・参議院の存在を示していくことが求められています。

総選挙後の国会においては、巨大与党に対峙すべく、中道改革連合・立憲民主党・公明党の3党が、合同部会、合同政調審議会で政策・法案対応での連携を強化しており、私も立憲民主党の財政金融部会長、政調副会長として議論に臨んでいます。3党それぞれの政策を尊重しつつ各政策を高めていくことが重要だと思っています。

働く者・生活者のための政治の実現、郵政事業の持続的発展に向け、小沢まさひと議員とともに全力で取り組んでまいります。引き続きのご支援をよろしくお願いいたします。

参議院議員 しば慎一

国会見学に来ませんか

お待ちしております！



しば慎一事務所では国会見学を随時行っております。お申し込みは、しば慎一ホームページか、お電話にて受け付けています。



2025年5月～2026年4月に
国会見学にいらしたみなさま

2025年

- 5月14日 ● 南関東地本退職者の会
- 5月19日 ● 東海地本
- 5月21日 ● 東北地本
- 5月23日 ● 群馬西部支部
- 5月28日 ● 志太榛原支部
- 6月3日 ● 日立支部
- 6月6日 ● 中東遠支部
- 全印刷労働組合
- 11月8日 ● さがみ支部
- 11月21日 ● 全国林野関連労働組合
- 11月28日 ● 全日本たばこ産業労働組合
- 12月5日 ● 沖縄地本女性フォーラム

2026年

- 2月6日 ● オホーツク南支部
- 黒潮支部
- 2月10日 ● 四国地本
- 2月13日 ● 石川中央支部
- いしかり支部
- 2月14日 ● 北陸地本女性フォーラム
- 2月15日 ● 関東郵便輸送支部
- 2月20日 ● 北陸地本支部役員
- 2月27日 ● 札幌南部支部
- 札幌中央支部
- 小樽支部
- 3月6日 ● 魚沼支部
- 3月13日 ● 知多地方支部
- 3月14日 ● 埼玉連協女性フォーラム
- 4月22日 ● 南関東地本



活動報告



みらい会議に参加の高校生の皆さんと



JP労組退職者の会の皆さんが訪ねてくれました



国際女性デー



衆議院選挙応援



初めての海外派遣



大切な要請書を預かりました



心ひとつに東北集会



癒やしのひととき

田村正勝先生思い出の会

昨年末に急逝された、しば後援会長の田村正勝先生の思い出の会が、3月7日に早稲田大学近くのホテルで執り行われました。優しい笑顔と温かなお人柄で、みんなに愛されていた田村先生。長い間ありがとうございました。これからも見守っていきましょう。



しば慎一YOUTUBEちゃんねる 開設のお知らせ

YOUTUBEチャンネルでは政策や活動について配信していきます

登録・いいね!が
励みになります

SNSも日々
更新中!

宜しくお願いします



高市総理は2026年1月23日に衆議院を解散、それに伴い衆議院議員総選挙が1月27日公示、2月8日投開票の日程で行われました。

解散から16日後の投開票という戦後最も短い「超短期決戦」の選挙戦でしたが、私たちの仲間が結集した中道改革連合にとって大変厳しい結果となり、自民党は単独で2/3の議席を獲得しました。

選挙戦に勝利した勢いで、高市総理は令和8年度予算案の年度内成立を試みました。その結果、衆議院での予算審議は2000年以降最も短い異例の早さで行われました。

一方参議院では、与党の議席が過半数を割っていることもあり、「良識の府」として充実した予算審議を目指したところ、政府は年度内成立を諦めざるを得ず、暫定予算を組む状況に追い込まれました。暫定予算は3月30日に衆参で成立、予算審議は年度をまたぎ4月7日まで実施されることになりました。

新年度の予算案は暫定予算を組めば年度を超えても審議できますが、年度末までに成立させないと国民生活や国の活動に重大な影響を及ぼしうる重要な法案があります。それを「日切れ法案」と呼びます。私の所属する財政金融委員会では日切れ扱いとなった法案が4つありました。令和8年度税制改正法案、特例公債法改正案、復興財源確保法案、そして関税法改正案です。

関税法以外の上記3法案について、3月23日に参議院本会議で会派を代表し、政府に質問を行いました。高市総理が質疑直前の3月19日に日米首脳会談に臨んだことから、冒頭に質問を追加。「世界に平和と繁栄をも

たらせるのはドナルドだけ、諸外国に働きかけてしっかりと応援したい」との総理の発言について、その真意を質しました。

高市政権は「責任ある積極財政」を掲げていますが、一般的に積極財政は円安・物価高が昂進するリスクを高めます。そこで特例公債の発行期限を5年間延長する政府の方針に対して、毎年国会の審議を経て発行することを提案しました。また税制においては、生活者や弱い立場にあるフリーランスの方々への支援を充実させつつ、巨額の内部留保を有する大企業や富裕層に対しては応分の負担を求め、適切な財政運営を行うことで円安・物価高に対応する重要性を訴え、政府に対応を求めました。

12月12日 予算委員会

初めてのNHK中継入りの予算委員会質疑

郵便事業をはじめとするインフラ整備に対する国の役割の重要性を指摘



予算委員会は予算案の審議を行うだけでなく、幅広く国政課題を議論する場でもあります。総理や閣僚が入る質疑の際にはNHKによるテレビ中継が入り、注目度も高まることから「国会の花形」とも言われています。

2025年12月12日、初めてテレビ入りの予算委員会の質疑に立ち、高市総理はじめ主要閣僚に直接質問する機会を頂きました。

まずは「政治とカネ」の問題について、大臣規範で大規模な政治資金パーティーを自粛するよう求められているにもかかわらず、片山大臣が政治資金パ

ティーを開催していた問題を指摘しました。ニュースにも取上げられるなどの反響もありましたが、その後政府は大臣規範を改正し、在任中の政治資金パーティーを一律に自粛することを決定、一定の成果を得ることができました。

また高市総理の掲げる「強い経済」について、民間投資の促進の重要性は理解しつつも、政府が真になすべきことは、国民生活の安心・安定に向けたインフラ整備であると指摘しました。

その観点から、郵政民営化から十八年となるなかでの郵便のユニバーサルサービス確保の難しさにつ

いて、郵便事業の特有のコスト構造、つまり「郵便物数は減少している一方で配達箇所数は変化していない」という事実を、パネルを用いながら紹介しました。

郵便事業のみならず、地方自治体、公共交通、運輸、医療、介護、教育分野をはじめとするエッセンシャルワーカーの皆さんの使命感に政治は甘えてはいけなく、強い経済は国民生活を支える人たちにも光を当てるべきであると主張し、その持続性確保に向けた政府の対応を求めました。

3月23日 本会議登壇

「良識の府」参議院にて 高市政権の 財政運営のあり方を質す

